



テュートリアル課題 突然の腰痛

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2014
号	S2
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032328

2014年度 Segment. 2

課 題 No.6

課題名：突然の腰痛

課題作成者： 第一生理学
第一生理学
第二生理学
第二生理学
整形外科学

宮田麻理子
行本 円
三谷昌平
榊健二郎
村田泰章



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

35才の保育士のAさん。体力には自信があったが、数日前に園児を抱き上げたとき、腰に痛みを感じた。しばらく安静にしていたが、腰痛と共に右膝内側から右下腿内側にかけて痛みとしびれがあり、右膝に力が入りにくい感じがした。痛みは前かがみで増強し、この症状が日に日に強くなったため、医師の診察を受けた。Aさんは椎間板ヘルニアと診断された。

シート2

医師はAさんの腰椎MRIの検査の結果を説明した。

シート3

医師が診察した結果、Aさんの右膝の筋力低下と右足関節の背屈力が低下していた。

シート4

診察室で、医師はAさんを椅子に座らせた後、足を組ませ、上の方の足の膝（膝蓋骨下）を打腱器で軽く叩いた。